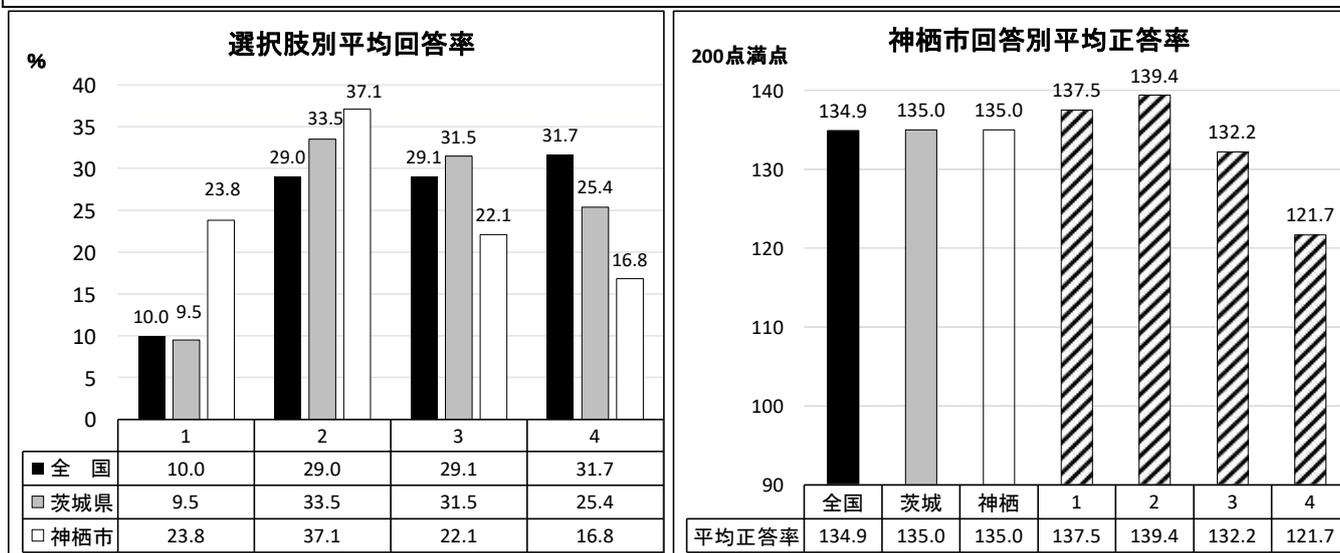


全国学力・学習状況調査の結果から見える学習・生活習慣と学力の関係

質問紙調査分析1(小学校)

【27】 ICT機器を日常的に使用して、友達と意見交換したり、調べたりしている児童は、正答率が高い傾向が見られます。

質問 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。
【選択肢】 1. ほぼ毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 月1回未満

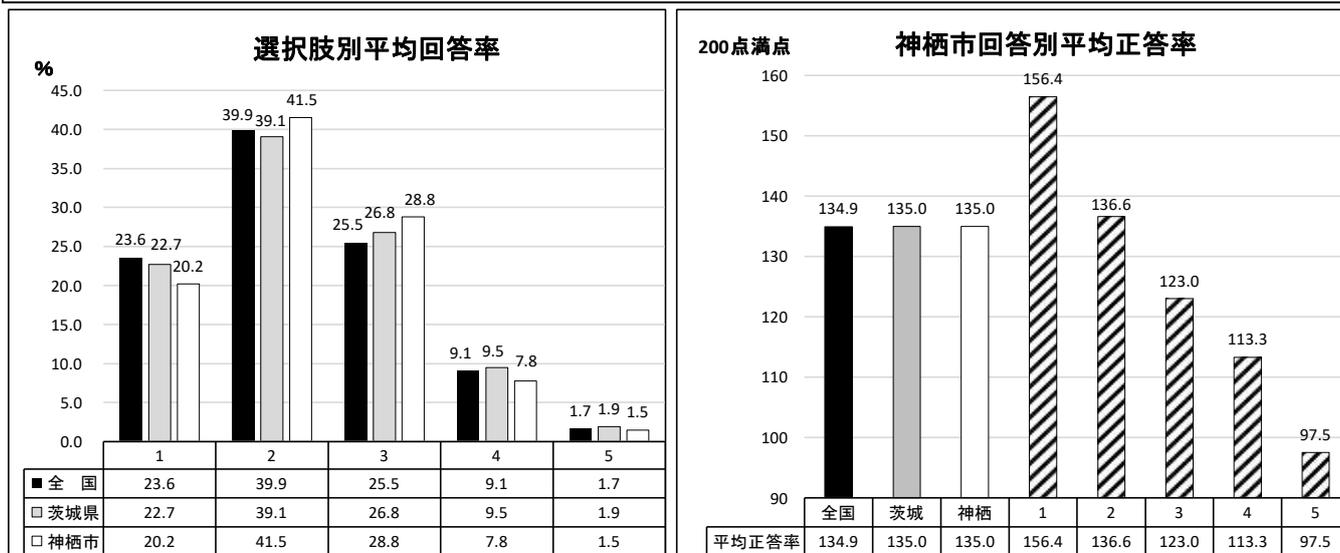


神栖市では、週1回以上ICT機器を使用している児童の割合が、60.9%と高く、全国との差が21.9ポイントあります。また、ICT機器を週1回以上使用して、友達と意見交換したり、調べたりしている児童は、正答率が高い傾向が見られます。ICT機器を活用することにより、個別最適で対話的な学びが深まっていると考えられます。小学校低学年から日常的にICT機器に触れる機会を増やし、慣れ親しんでいくことが大切です。

【32】 自分の考えを伝えるために、工夫して発表している児童は、正答率が高い傾向が見られます。

質問 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

【選択肢】 1. 発表していた 2. どちらかといえば、発表していた 3. どちらかといえば、発表していなかった 4. 発表していなかった 5. 考えを発表する機会はなかった

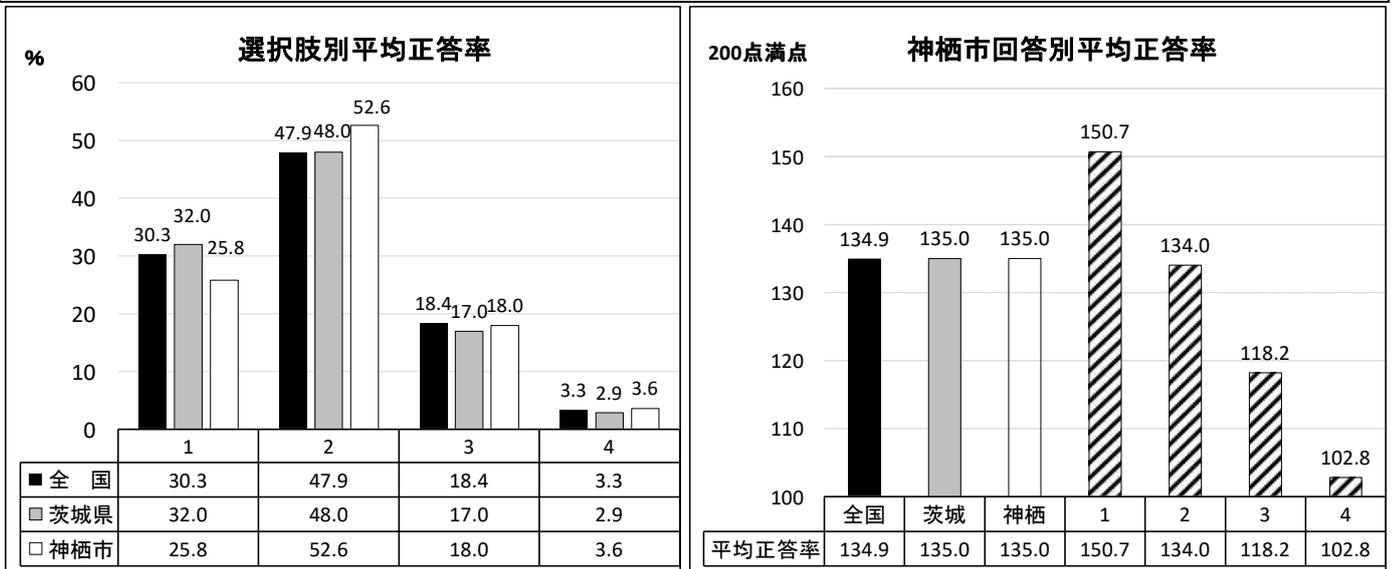


自分の考えを伝えるために、工夫して発表している児童は、平均正答率が高い傾向にあります。国語と算数の平均正答率を見ると、「している」と答えた児童は、「していない」と答えた児童よりも、2教科ともに20ポイント以上になっています。しかし、「発表している」と答えた児童の割合は、全国と比べ低く、また、20.2%とそれほど高い数字とは言えません。自分の考えを伝えるために、工夫して発表することが学力の向上につながることから、普段から資料を活用し、話の組立てを考えながら発表する機会を効果的に設定することが重要です。

質問紙調査分析2(小学校)

【33】 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童は正答率が高い傾向が見られます。

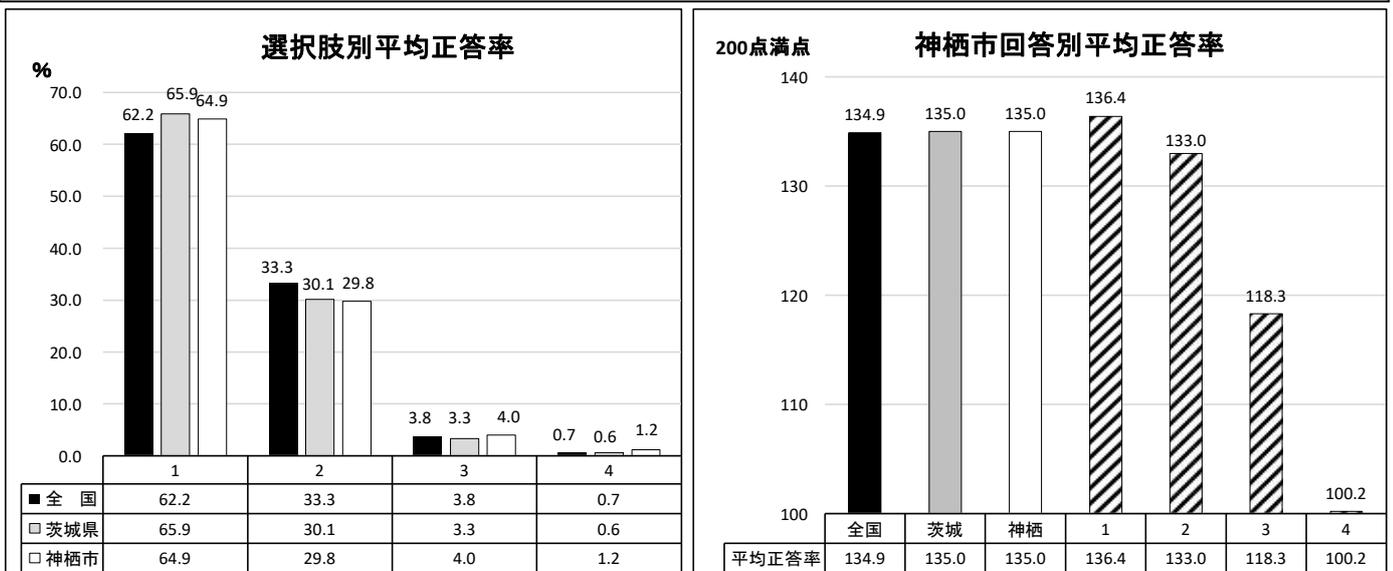
質問 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
 【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない



神栖市の児童は、5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと肯定的に答えた割合が高く、正答率も高くなっています。神栖市授業スタイルにより、自分の考えをもち、課題解決に取り組む力が身に付いています。今後は学習計画表を基に振り返りの充実を図り、児童自らが課題を見つけ主体的に学習に取り組む態度を育てていく必要があります。

【36】 友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童は、正答率が高い傾向が見られます。

質問 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
 【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない

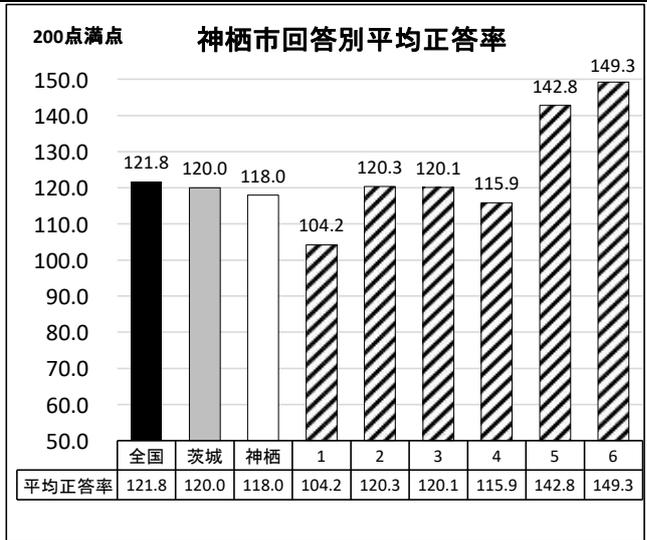
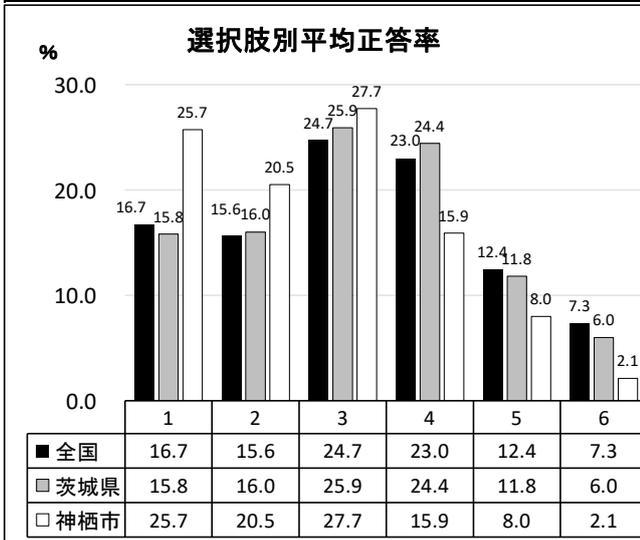


友達の意見を最後まで聞くことのできると答えた児童の割合はとて高く、正答率も全国や県と比べて高いことが分かります。学級やグループの話合いの中で、互いの意見や考えを尊重しながら聞いたり、自分の考えに自信をもちたり、違うものの見方に触れたりすることで、思考力を高め、理解力を深めることにつながったと考えられます。今後さらに、「話すこと」「聞くこと」を日々の授業に取り入れ、相手の言いたいことは何か、自分の考えとどこが違うかを、子どもたちが考える授業を進めていく必要があります。

質問紙調査分析1(中学校)

【5】 神栖市では、平日にテレビゲームを長時間(3時間以上)する生徒が全国平均よりも多く見られました。一方で、ゲーム時間を1時間以内に抑えている生徒は、平均正答率が高い傾向にあります。

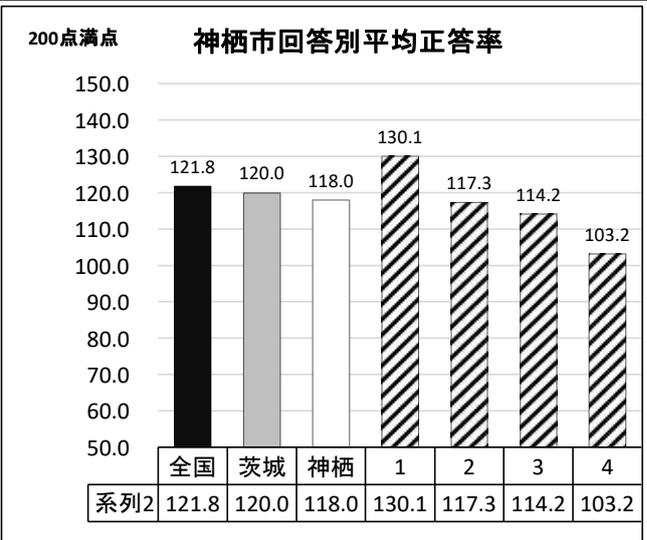
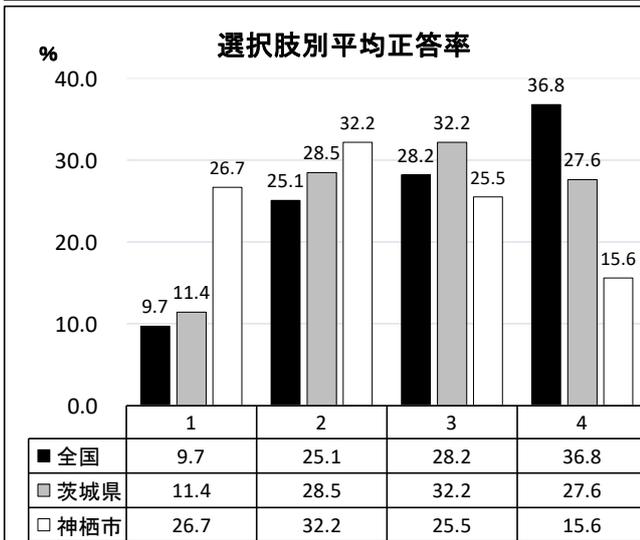
質問 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。
 【選択肢】 1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない



神栖市の生徒は、特に1日当たり3時間以上～4時間以上ゲームをするという回答が、全国に比べ13.9ポイントも多く、平日から長い時間をゲームに費やしている状況で見られました。また、平均正答率で見ると、「1日当たり1時間以内、全くしない」と回答した生徒の正答率が高い傾向にあります。コロナ禍で臨時休校や分散登校等で家庭で過ごす時間が増えたこともゲーム使用時間が長くなっている一因であると考えられますが、今後も平日放課後の過ごし方や家庭学習の時間確保が課題です。

【27】 授業中にコンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見交換したり調べるために活用している生徒ほど平均正答率が高い傾向にあります。

質問 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか。
 【選択肢】 1. ほぼ毎日 2. 週1回以上 3. 月1回以上 4. 月1回未満

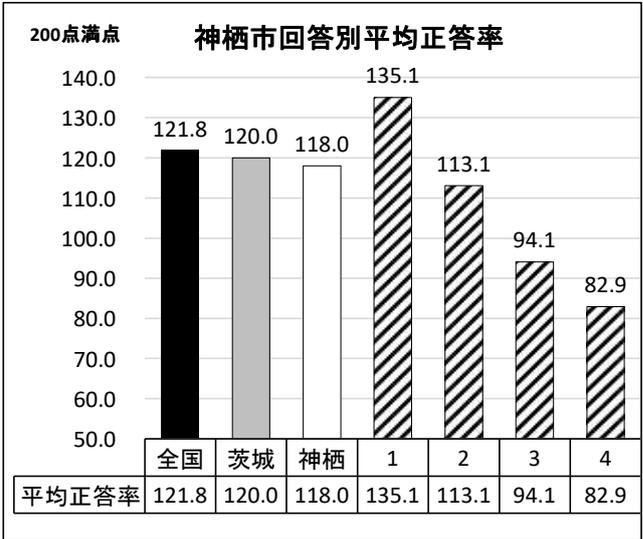
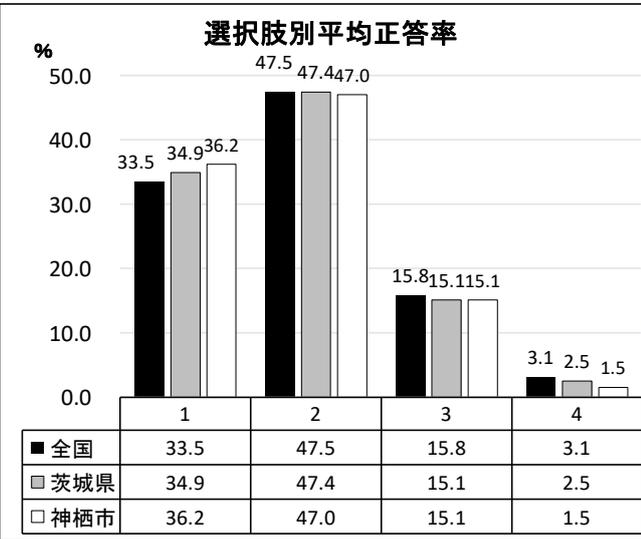


神栖市では、授業中にコンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見交換したり調べるために、ほぼ毎日活用している生徒は全国平均を17.0ポイント上回っています。ICT機器を積極的に使うことにより、情報を収集する力や必要な情報を取捨選択する力が育ち、学力向上につながります。一人一台端末の環境が整ってきているので、授業の中で意図的にICT機器を使用する機会を設けていくことが大切です。

質問紙調査分析2(中学校)

【33】 授業中に課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒ほど平均正答率が高い傾向にあります。

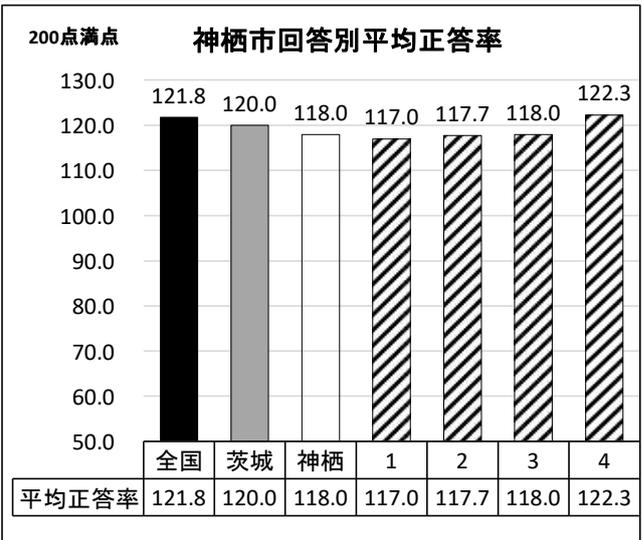
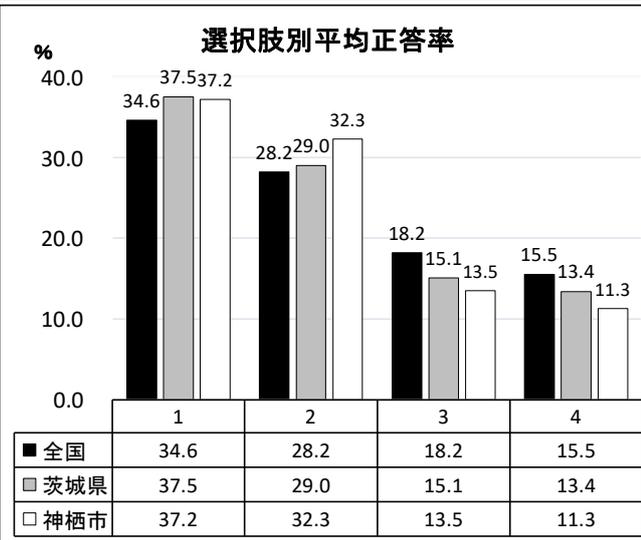
質問 1. 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない



神栖市では、1・2年生のときに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒が全国平均を2.7ポイント上回っています。1年生の授業から課題の解決に向けて、自分で考えたり自ら取り組んだりする活動を意図的に仕組んでいくことが学力向上につながっていくと考えられます。

【64】 休校期間中に、勉強に不安を感じていた生徒は、平均正答率が低い傾向が見られます。

質問 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。
【選択肢】 1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない



休校期間中、全国でも多くの生徒が勉強に不安を感じていたことが分かりました。神栖市でも約7割(69.5%)の生徒が不安を感じた、どちらかといえば感じたと回答しています。学習の進捗や定着に不安を感じたことはもちろんですが、特に神栖市の生徒は、不安を感じると回答した生徒の平均正答率が低いことから、学力の低い生徒は、GWやCWでの意見交換や交流ができなくなってしまったことにより、自分の考え方のみで正答を導くことや他の様々な意見を参考にできず、自分の力だけで課題を解決しなくてはならないことにも不安を感じていたのではないかと考えられます。学力の低い生徒には、自身の思考の過程や回答を確認するGWやCWがとても重要です。話し合い活動が制限されてしまっている状況ですが、今後は、会話ではなく「文字」での意見交換や「ICT機器」を活用した授業づくりも必要となります。